

施政方針演説 所信表明

1月23日付東京新聞に安倍首相の施政方針演説で『「原発」触れず語らず』という記事がありました。そこで就任以降の所信表明、施政方針演説を見直してみました。(参考資料①)

福島復興

原発

2013年1月28日 第183回国会 所信表明演説

被災地の復興と
福島の再生を必ずや加速してまいります

言及なし

2013年2月28日 第183回国会 施政方針演説

福島は、今も、
原発事故による被害に苦しんでいます。
子どもたちは、屋外で十分に遊ぶことすら
できません。
除染、風評被害の防止、早期帰還に、
行政の縦割りを排し、全力を尽くすべきは
当然です。
しかし、私たちは、その先にある「希望」
を創らねばなりません。

東京電力福島第一原発事故の反省に立ち、
原子力規制委員会の下で、
妥協することなく安全性を高める新たな
安全文化を創り上げます。その上で、
安全が確認された**原発は再稼働**します。
省エネルギーと再生可能エネルギーの
最大限の導入を進め、**できる限り
原発依存度を低減**させていきます。

2013年10月15日 第185回国会 所信表明演説

福島の皆さんにも、一日も早く故郷に戻っ
ていただけるよう、**除染やインフラ復旧を
加速**してまいります。

今後とも、**東京電力福島第一原発の廃炉・
汚染水対策を、全力でやり抜いてまいりま
す。**
東京電力任せにすることなく、国が前面に
立って、責任を果たしてまいります。

言及なし

2014年1月24日 第186回国会 施政方針演説

福島の皆さんにも一日も早く故郷に戻って
いただきたい。

**東京電力福島第一原発の廃炉・汚染水対
策について万全を期す**ため、東京電力任せ
とすることなく、国も前面に立って、予防
的・重層的な対策を進めてまいります。

原子力規制委員会が定めた世界で最も厳
しい水準の**安全規制を満たさない限り、
原発の再稼働はありません。**
徹底した省エネルギー社会の実現と、再
生可能エネルギーの最大限の導入を進
め、**原発依存度は可能な限り低減**させて
まいります。

2014年9月29日 第187回国会 所信表明演説

来月一日には、田村市に続き、川内村への避難指示を解除します。故郷に帰還する皆さんが、安心できる暮らしを取り戻すことができるよう、健康や仕事などの不安を一つひとつ解消してまいります。中間貯蔵施設の建設も、福島の皆さんの御理解を得て、大きな一歩を踏み出すことができました。これを機に、**除染を更に加速**し、一日も早い福島の再生を成し遂げてまいります。

原子力規制委員会により求められる安全性が確認された原発は、その科学的・技術的な判断を尊重し**再稼働を進めます**。

徹底した省エネルギーと再生可能エネルギーの最大限の導入により、**できる限り原発依存度を低減**させてまいります。

2015年2月12日 第189回国会 施政方針演説

福島を、世界最先端の研究、新産業が生まれる地へと再生する。原発事故によって被害を受けた浜通り地域に、ロボット関連産業などの集積を進めてまいります。中間貯蔵施設の建設を進め、**除染を更に加速**します。**東京電力福島第一原発の廃炉・汚染水対策に、国も前面に立ち、全力で取り組みます**。福島復興再生特別措置法を改正し、避難指示の解除に向けて、復興拠点が円滑に整備できるようにします。財政面での支援も拡充し、故郷に帰還する皆さんの生活再建を力強く後押ししてまいります。

原子力規制委員会が新規規制基準に適合すると認めた原発は、その科学的・技術的な判断を尊重し、**再稼働を進めます**。

長期的に原発依存度を低減させていくとの方針は変わりません。あらゆる施策を総動員して、徹底した省エネルギーと、再生可能エネルギーの最大限の導入を進めてまいります。

2016年1月22日 第190回国会 施政方針演説

福島では、来年春までに、帰還困難区域を除く避難指示を解除し、一人でも多くの方に故郷へと戻って頂けるよう、**廃炉・汚染水対策を着実に進め、中間貯蔵施設の建設と除染を一層加速**し、生活インフラの復旧に全力で取り組んでまいります。

言及なし

少しだけ感想を

手元にある大辞林によると、「施政方針演説」は1月に招集される国会開会式で首相が内閣の基本方針を説明する演説。「所信表明演説」は特別国会や臨時国会の冒頭で首相が当面の国政全般について方針を述べる演説。なんだそうで、後者の方がより近い将来を見てるといった感じでしょうか。

冒頭の新聞記事は「施政方針演説」で2016年には原発について触れてないという内容でしたが、確かに。過去言ってることはずっと同じでしたが、それすら言わなくなった、っというのは、安倍首相にとって、『再稼働』は既定路線、『原発依存度低減』は2015年の演説で「長期的に」と付与したことで、自分には関係なくなった、ということ、原発については今更特に言うことはない、ということなのかもしれません。

もう一つ気になるのは福島についての触れ方です。扱いが小さ過ぎだと思えます。今もこの日本は「原子力緊急事態」中で、国は組織及び機能の全てを挙げて万全の措置を講じる責務があるはず。とすれば、今どのような課題があり、それに対してどのような措置を講じるかを述べるのがメインであるべきでしょう。まず足元の緊急事態をしっかりと認識するのが最優先であり、それを認識すれば憲法どうのこうのなんて言う場合じゃないはずなんです。